

## LAN iSilencer の導入(10) (HP 収載)

### —配信音源の DSD 録音—

#### 1. はじめに

配信音源の音質向上については、前報(9)の LAN iSilencer の追加とそれ以前に種々の対策を行ってきました。その結果を記録するために DSD 録音を行うことにしました。

#### 2. LAN iSilencer その他の効果の録音と試聴方法

配信音源の受信と録音ルートは次のとおりです。

ルーター→【LAN iSilencer】→スイッチングハブ→【LAN iSilencer】

→PC→【USB アクライザー】→Sonica DAC

→【バランスアナログアクライザー】→TASCAM DA3000(\*)

\*GPS-777 より 44.1KHz クロック入力

これまでの音質向上対策を整理しますと以下のとおりです。

ルーター：

LAN 空きポートに LAN iSilencer セット

スイッチング電源 DC ラインに iPurifierDC 挿入

スイッチングハブ：

LAN 入力ポートに LAN iSilencer セット

LAN 空きポートに専用アースケーブルで自作仮想アース接続

PC：

LAN 入力ポートに LAN iSilencer セット

USB 空きポートに専用アースケーブルで Crystal E Jtune 接続

Sonica DAC：

アースポイントに Crystal Ep 接続

USB 入力ポートに USB アクライザーセット

TASCAM DA3000：

RCA 空き端子に専用アースケーブルで自作仮想アース接続

バランス入力端子にバランスアナログアクライザーセット

音源は、STAGE+のライブ収録より次のものを選定しました。ライブ感を評価するための参考として収録環境の画像を添付しています。

音源 1：ピアノ

曲目 J.S.バッハ Goldberg 変奏曲 (アリア・第一変奏)

演奏 ラン・ラン (ピアノ)



音源 2 : ギター

曲目 バッハ パルティータ第一番変ロ長調 (ギター編曲版)

演奏 ラファエル・フイヤートル (ギター)



音源 3 : ソプラノ

曲目 シャルルグノー ロミオとジュリエットより「私は夢に生きたい」

演奏 ナデーン・シェラ (ソプラノ)

マチュー・ヘルツォーク指揮アパッショナート



音源 4：ピアノ 5 重奏

曲目 シューベルト ピアノ 5 重奏 鱒第一楽章

演奏 リサ・パティアシュビリ (ヴァイオリン) 他



音源 5：古楽

曲目 J.S.バッハ クリスマスオラトリオ

演奏 ジョン・エリオット・ガーディナー指揮 (序章・エヴァンゲリスト歌唱)  
イングリッシュバロックソロイスト  
モンテヴェルディ合唱団



音源 6 : コントラバス

曲目 ジェリコの戦い

演奏 ラウラ・マイヤー (コントラバス) (演奏・奏者の紹介)  
マーカス・ベッカー (ピアノ)



録音音源は、fidata HFAS1- S10 の NAS にコピーし、USB 経由で Brooklyn DAC+ に送り出して再生します。

### 3. LAN iSilencer その他の効果の試聴結果

DSD 録音音源の試聴のポイントは以下のとおりです。

各楽器やソプラノの音と声の質感

ピアノの打鍵と余韻のバランス

ギターのピック音と胴鳴りのバランス

環境音も含めたライブ感 (教会・大小ホールなど)

ピラス 5 重奏曲縛では、

アンサンブルの各パートのバランス

パティアシュビリのストラディヴァリウスエングルマンの質感

コントラバスのアルコとピチカートの明瞭さ

楽器の前後左右の位置関係

クリスマスオラトリオでは、

古楽器類の質感

オーケストラと合唱の分離と協和

テノールの声の質感と残響音の明瞭さ

上記のチェックポイントは、ストリーミング再生の場合に比べて一定程度確保されていることが分りました。

ピアス 5 重奏曲盤では、前報(7)でも DSD 録音を行っているので、比較しましたところ、その後 LAN iSilencer を 2 か所に追加した今回の方が、弦が滑らかになり、音の緻密さが向上していることが分りました。

#### 4. まとめ

STAGE+の最近のライブ収録の音源から 5.6MHzDSD 録音を行い、ストリーミング再生のグレードが一定程度記録されていることが分りました。今後も対策を追加し、その効果を受けて比較していく予定です。

以上